



遊びを通した学び～『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を通して

園長 須田なぎさ

2月3日は節分です。豆まきの『豆』は『魔滅（まめ）』に通じ、「鬼はそと！福はうち！」と唱えて、安心・安全な世の中になる願いを込めながらまきます。そして、節分の翌日は立春です。子どもたちの植えたチューリップが芽を出し始め、自然園のコブシやウメの蕾も膨らんでいます。寒さの中、春の訪れを感じます。

今回は、幼稚園教育要領にある、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についてお話したいと思います。これは、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼児期の終わりに見られるようになる姿で、  
①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え  
⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形・文字等への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現力 以上の10の姿をイメージしています。

「幼児期の終わり」である5歳児にじ組の遊びや生活の様子と照らし合わせてみましょう。

## ピザ屋さんごっこ

集まった仲間が、ピザ屋には何が必要か、どんなピザにするかなど考えを出し合い（⑥思考力の芽生え ⑨言葉による伝え合い）、仲間と同じ目的に向かい力を合わせて本物らしく作っていきます（③協同性 ⑩豊かな感性と表現力）。思いがぶつかっても、お互いに意見を出し合う中で、「じゃあ、ここは～しよう。」と折り合いをつけようとする様子が見られます（④道徳性・規範意識の芽生え）。

## 氷作り実験

寒さが厳しくなった日、思い思いの容器に水を入れ、氷が張るかどうかが試しながら「寒いところに置こうよ」「どこがいいかな？」と、友達と相談したり、情報を伝え合ったりします（⑨言葉による伝え合い ⑥思考力の芽生え）。氷という自然現象を捉え集中して関わる様子が見られます。（⑦自然との関わり・生命尊重）

## 『お休み調べ』当番

各学級を回り、担任に出欠状況を書いてもらい、職員室に報告するものです。自分の仕事と自覚して、「お休み調べの紙をください。」「お休みの人、教えてください。」「終わりました。」と、しっかり一人で行動しています（②自立心）。「今日は何月ですか？」「今日の天気は？」という質問にも、しっかりと答えています（⑨言葉による伝え合い⑧数量・図形・文字等への関心・感覚）。

このように、子供園の生活の中で、「やりたい！」「楽しい！」という気持ちでする遊びを通した学びは、着実に小学校に向かう力につながっています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、個別に取り出して特別な指導をするのではなく、毎日の自発的な遊びを通して、年齢にあった経験を積み重ねていくことで育っていきます。5歳児になって急に出てくるものではなく、4歳児からの積み重ねがあって育っていく姿なのです。10の姿を手掛かりに、幼児の姿を小学校の先生と共有することで、円滑な接続を図っています。

2月6日から、いよいよ新しい園舎での生活が始まります。新しい保育室、目の前に広がるグラウンドなど、環境が変わることで、生活の流れ、動き、遊び方が変わります。引き続き、子どもたちの成長のために、一日一日を大切に、遊びや生活の中で幼児期にふさわしい経験を重ねられるよう、安全面を再確認し、新しい生活を子どもたちと一緒に作っていきます。



## 《2月の保育》

### ★4歳児 たんぽぽ組

自分で選ぶ遊びの中では、中型積み木を使って乗り物を作ったり、お店屋さんをしたりして、友達と誘い合って遊びを楽しんでいます。

みんなと一緒に歌ったり、演奏したりすることを繰り返し楽しみ、伸び伸びと表現することを楽しめるようにしていきます。そして、声や音が合う心地よさを感じることも大切にしていきます。

今月の誕生会からは、年長組に教えてもらいながら、司会をします。また、お別れ会の準備やプレゼント作りなども進めていきます。その中で、大きくなったことを感じ、学級のみんなでする活動の中にも、自分なりのめあてをもち、一人ひとりが力を出せるようにしていきます。

### ★5歳児 にじ組

子供園での生活が残りわずかとなり、まとめの時期に入ってきました。

音楽会では友達と声をそろえて歌ったり、様々な楽器の音を重ねて表現したりする楽しさを感じられるようにしていきます。

これまでにじ組の仕事として取り組んできた飼育物の世話や誕生会の司会を、たんぽぽ組に引き継いでいきます。たんぽぽ組に分かるように伝えるために、どのように関わるとよいのか、友達と一緒に考えながら進めていきます。

これまでの製作の経験を活かして、節分の鬼のお面や升、雛人形、修了制作の品などを丁寧に作っていきます。また、学級のみんなでドッジボールや開戦ドンなどを繰り返し楽しみながら、遊びや生活の中で友達の良さを認め合い、残りの園生活も充実して過ごせるようにしていきたいと思います。

